

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

日本の伝統を未来へ。社寺仏閣の彫刻を制作する「(有)豊田彫刻工房」

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事…これは私が作った造語です。

日本の伝統的な風景にかかせないお寺と神社。その数は、日本全国のコンビニ店舗数(約5万5000)を上回っているのをご存知でしょうか？(寺院は約7万7000社。神社は約8万社。)冠婚葬祭や初詣、七五三等の節目での行事を含め、「お寺」や「神社」は私達日本人の生活に根付いており、日本特有の建造物の象徴でもあります。

今回は「匠の業を感動に変える」を社の理念として、社寺仏閣彫刻を手掛ける「(有)豊田彫刻工房(以下豊田彫刻)」をご紹介します。

豊田彫刻は昭和34年の日光東照宮・昭和の大修理を皮切りに香川県から上京した現会長・豊田豊氏が会社を興し、約60年間に渡り、社寺仏閣の彫刻をメインに、木彫看板、額の制作等を行っています。

彫刻作品が出来るまでには様々なドラマが隠れています。木の種類、彫刻材の使い方など、素材をどのように活かそうか。その彫刻素材を昇華させるために、どのような道具をおつか、デザインにしようか。想いを巡らせ、匠の先人たちより受け継がれてきた伝統技術を駆使して、制作にあたります。

手がける彫刻は新築もあれば、修復作業も数多

文 牛久保洋次

text by Yoji Ushikubo

く存在します。先人が彫った彫刻を修復する訳です。軽気持ではできません。欠けている部分があれば、どのように彫られていたのか想像力を働かせて彫り直すこともあります。

「古い彫刻を蘇らせて次の世代へ引き継ぐ」豊田彫刻は日本の文化を継承する重要な責任を担っています。

また近年では防火地域といった法規制や技術の進歩などの時代の変遷に伴い、社寺の世界でもコンクリート建築が増え、様々な改革が求められております。コンクリートやFRP(繊維強化プラスチック)での彫刻製品の需要も増えてきています。伝統建築の趣を変えることなく文化を踏襲しながら、施主の求める製品をいかに制作していくのか、時代は変わっても、大切なものは「心」です。豊田彫刻は先人の築いた歴史を尊び、思いやりの精神の育まれた日本文化をこれからも発信し続けるべく、邁進中です。

【(有)豊田彫刻工房】
<http://www.cho-kokunet>

今月の一言

伝統、技術、心を後世に繋ぐ

これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛(レコードレンタルビジネスの開発者)を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長(社)ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしい隊長、その他顧問数社。